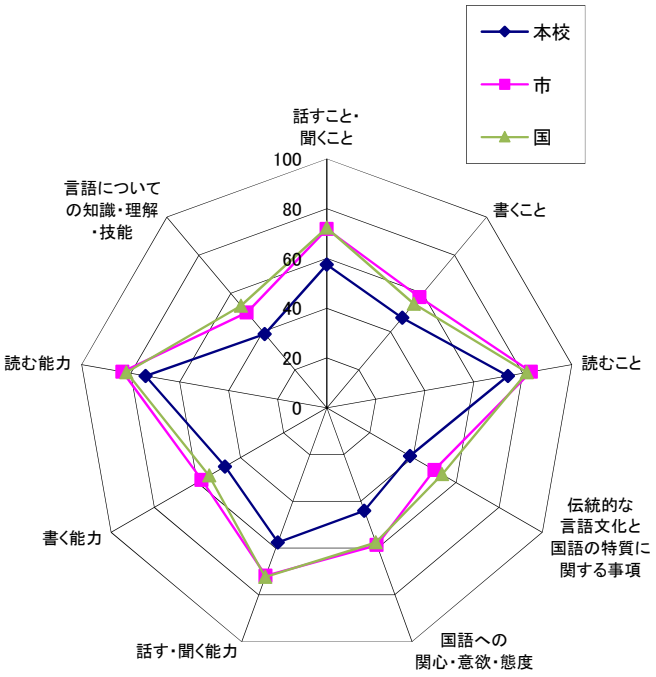
宇都宮市立宝木小学校第６学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと･聞くこと	57.5	71.8	72.3
	書くこと	47.2	58.0	54.5
	読むこと	73.9	83.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	38.7	50.0	53.5
観点	国語への関心･意欲･態度	44.0	58.7	57.6
	話す･聞く能力	57.5	71.8	72.3
	書く能力	47.2	58.0	54.5
	読む能力	73.9	83.3	81.7
	言語についての知識･理解･技能	38.7	50.0	53.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	本校の平均正答率は全国平均と比べると低い。 ○話し手の意図を捉えながら聞き，質問に答える問題は他の問題と比較すると正答率が高い。 ●話し手の意図を捉えながら聞き，自分の考えをまとめる問題の正答率は50%と，全国の平均より18．2ポイント低い。	･会話文やインタビューの内容を整理しながら理解することが苦手である。文章を話し手ごとに区切ったり，話し手の意見をそれぞれまとめていく活動を進めていくことで，的確に理解する力を高めていく。また，学級活動等で話合いを行うときには，各自必要なことをメモに取る形を取り，様々な意見を自分なりに整理することに慣れさせていきたい。
書くこと	本校の平均正答率は全国平均と比べると低い。 ○書き手の工夫の仕方について読み取り，選択する問題の正答率は，全国の平均と比較してほぼ同じである。 ●目的や意図に応じて自分の考えをまとめて書く問題の正答率は13．2%と，全国の平均より15．6ポイント低い。	･文章の読み取りはややできるが，自分の考えを文章にまとめることが苦手である。また，文章にまとめるときに条件を提示されるとさらに苦手な傾向が強まり，無回答率も増える。今後は，自分の考えを短い文章でまとめる機会を増やしたり，その都度簡単な条件を提示して書かせたりしていくことで，作文への抵抗を少なくしていきたい。
読むこと	本校の平均正答率は全国平均と比べると低い。 ○目的に応じて，文章中から読むべき箇所を選択する問題は他の問題と比較すると正答率が高い。 ●文章の内容を押さえ，適切な解答を選択する問題の正答率は67．9%と，全国の平均より12．8ポイント低い。	･文章が長い問題や資料が多い問題を読み取ることが苦手である。文章を内容ごとに区切ったり，質問に関する内容がどこに書かれているのかをキーワードをもとに見つけたりする活動を丁寧に進めていくことで，文章が長くても的確に理解する力を高めていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	本校の平均正答率は全国平均と比べると低い。 ○ひらがなを漢字で書く問題は他の問題と比較すると正答率が高い。 ●接続語を使って文章を分ける問題の正答率は24．5%と，全国の平均より23．3ポイント低い。	･漢字の定着が不十分である。6年生で習う漢字に加えて，これまでに習った漢字を定期的に復習する場を設ける。 ･接続詞の使い方の理解が不十分である。長文の中で活用するのではなく，短文の中で接続詞を扱う場面を取り入れていく。また，読み取りの学習の中でも出てきた接続詞に注目できるようにその都度確認する場を設ける。